

INFORMATION NOW

インフォメーション・ナウ

自衛隊機墜落事故の経過報告

11月22日(月)午後1時42分、狭山市柏原3064番地付近に、航空自衛隊人間基地所属のT-33型ジェット練習機が墜落した事故について、市では、ただちに防衛庁などに、「墜落事故の徹底した原因究明」、「航空機の飛行自衛」、「飛行訓練場所の検討」、「被害」についての十分な補償」を、文書で強く申し入れました。市議会においても人間基地司令に、「事故原因の究明と飛行中止」を求める要望書を提出しました。基地対策協議会では、防衛庁などに「航空機の即時飛行中止」、「人間基地運用の根本の見直し」を求める要望書を提出しました。また、事故現場に近い、柏原第8区自治会においても人間基地司令並びに狭山市長宛、「事故の再発防止」、「再発防止」についての関係機関への働きかけ」などが要望されました。

事故の概要

発生日平成11年11月22日(月)午後1時42分、発場所狭山市柏原3064番地付近、事故の状況航空自衛隊人間基地所属T-33型ジェット練習機が墜落し、乗員2名が死亡。なお、墜落原因は現在調査中、被害状況東京電力の送電線を切断し、埼玉県および東京都で80万世帯が停電。ゴルフ場の一部を損壊、家屋の被害2件(雨樋、車庫)、自家用車11台損傷



11台損傷
(雨樋、車庫)、自家用車

事故の問い合わせ企画課へ内線7135

目指せ、CO₂排出量の10パーセント削減 環境家計簿をつけてみよう

私たちは今、家電製品や自動車を利用し、便利で快適な生活を送っています。しかしその一方で、私たちの生活スタイルの変化によってCO₂(二酸化炭素)が増加し、気候の変動や農業被害などさまざまな深刻な問題が起こり、世界的な緊急課題である地球温暖化の原因にもなっています。私たちの未来の地球を住みよいものにしていくためには、私たち自身が身近なところから生活を変えていく必要があります。そこで市では、環境問題に対して身近なところから取り組めるように、快適な環境づくり推進員の皆さんからご意見をいただき「環境家計簿」を作成しました。

環境家計簿は、私たちの家庭で使用する電気、ガス、水道の使用量やガソリンの購入量、ごみの量などを調べることで、生活から排出されるCO₂の量が簡単に計算できるようになっています。また、皆さんの日常生活にすぐ役立つ省エネ方法が分かりやすく紹介しており、巻末には、

省エネ行動を習慣づけるための「省エネシール」も用意しました。この環境家計簿で得た各家庭のデータを基に、CO₂の排出量を減らすにはどうしたらよいかを家族みんなで話し合ってみてください。地球温暖化が進む原因であるエネルギーのむだづかいを解消することで、環境にやさしい生活が身につくだけでなく、家計費の節約にもつながります。

地球温暖化防止月間である12月を生活状況の基準月として、来年1月から3か月間でCO₂排出量を10パーセント減らすことを目標に、皆さんのご家庭で使い始める新しい家計簿ととも、「この環境家計簿」をつけてみましょう。

配布場所

市役所3階環境政策課、各公民館、出張所でご希望のかたに無料で配布しています。部数に限りがありますので、お早めにとりだ。

問い合わせ環境政策課

環境保全担当へ内線3671・3672・3673



快適な環境づくり推進員
快適な環境づくりを進めるための各種事業を積極的に推進するため、現在23名を委嘱しています